土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　その他河川郷谷川通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	BorNo.3	調査位置	広島県大竹市油見二丁目　地内			北緯	34° 13’ 19.1000″
発注機関	広島県西部建設事務所　廿日市支所			調査期間	令和5年 7月 4日～ 令和5年 7月 5日	東経	132° 12’ 52.3800″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	59.21m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM　05-DA型
総削孔長	9.25m								エンジン	ヤンマーNS90型	ポンプ	YBM－GP5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1									崩積土 ・最上位は草木根混じえる黒褐の腐葉土 ・礫φ50mm程度以下の中ー粗礫が混入 ・基質は細ー中粒砂、細粒分及びφ5-10mm程度以下の鉱物片及び細礫を伴う		0 10 20 30 40 50 60	9	1.15	3	3	3	9/300							
2				礫混り砂質土		暗褐	rd3					15	1.45 2.15	4	6	5	15/300							
3	56.21	3.00										30	2.45 3.15	9	10	11	30/300							
4	55.21	4.00		花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩風化土(DM) ・風化変質が進行し岩質は著しく軟質化 ・原岩組織はやや明瞭に残存 ・採取試料は土砂状、指圧で容易に凹む			50以上	3.45 4.15	13	20	17 50	50/250	250						
5	54.21	5.00		花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・やや岩芯を残す風化漸移帯相当の旧風化核残留部			45	4.40 5.15	13	15	17	45/300							
6	53.21	6.00		花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩風化土(DM) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・採取試料は土砂状、指圧で容易に凹む			50	5.45 6.15	18	22	10	50/300	300						
7									粗粒黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石の一部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し指圧で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化			50以上	6.45 7.15	23	24	3 10	50/210	210						7/4
8						灰褐						50以上	7.36 8.15	41	9 40		50/140	140						
9	49.96	9.25		花崗岩								50以上	8.29 9.25	50			50/100	100						7/5
10													9.35											
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								